

# 文化交流部会のミニバスハイクが行われました 鹿島、香取神宮初詣とアウトレット見学

進藤郁生(日本語教室部会)

2月18日(土)は前日と違って、外気温が下がった曇り空のミニバスツアーとなりましたが、東関道を鹿島方面へ渋滞もなく順調な走りでスタートしました。車中ではお茶とお菓子と本日の旅のしおり小冊子の配布があり、参加者の自己紹介(声だけしかわからないけれど)もありました。参加者は外国人3人を含む29人です。

## ●鹿島神宮

自由に皆さん参拝し、神宮内を散策したようです。武道の神ということで「心・技・体」を普段の稽古で心がけることをちょっぴり祈願しておきました。剣豪塚原ト伝(活人剣の祖)の関わり深い神社ですね。神宮は初めてではないのですが、今回、奥の「御手洗池」や「要石」などを見学し、新たな発見がありました。周辺の社叢林に植生の変遷と歴史の重みを感じますね。



鹿島神宮



香取神宮



鹿島神宮の鯰(道標)

要石

## ●香取神宮

宝物殿内では「香取」の歴史と関わる、古来から近代までの歴史の流れを感じることができました。また、歴史の中での宝物それぞれの社会的背景をイメージして楽しみました。こちらにも神宮内旧参道近くに「要石」があり、鹿島神宮と共通した意味合いのものでした。

(地下深く地震を治める石としての伝説)

## ●水の郷さわら：道の駅・川の駅

水郷に関わる地域の物産店があり、そこで各人各様に昼食をとりました。川の駅では河川防災ステーションとして河川防災機能の展示解説がありました。また利根川に関する紹介や展示もあり、中でも地域に伝わり継続されている大きい鯉の山車の展示が気になりました。山車に載せる稲藁で編み込んだ巨大鯉はよくできていましたね。



巨大鯉



鯉の頭部

## ●鍋店(酒造店)

入り口には定番の杉玉が吊り下げてありました。時期的に仕込み行程は見学できませんでしたが、試飲場所・売店ではなんだかんだと説明を聞きつつも試飲を重ね、皆さんお好みのお酒をゲットしたようです。今晚は物産店で購入した肴で日本酒ですね。熱燗?冷?それとも常温で一杯ですか……。最初の酒造品の「蓬萊山」は無く、今は「仁勇」という銘柄がお買い得、一押しのようなのですね。



鍋店



杉玉



蓬萊山

●空の駅さくら館（さくら山）

各国の飛行機の種類 80 機ほどの離発着が見られるようです（写真入りの看板がありました）。つぎに訪れるとしたら周辺の環境からみてお花見（桜）の頃がいいですね。



●酒々井プレミアム・アウトレット

ご承知のように店舗数が多く広い場所なので、目的品をある程度事前に絞り込んでおかないと大変なことになってしまいます（運動不足の方にとってはいいのかも・・・？）皆さんは何かお買い得がありましたか？。当方はざっくり見てから、珈琲タイムでゆったりと今日のミニ旅を振りかえりました。

●水の話とイチゴ

水の郷・川に因んで、生活に大切な「水」、地球環境からの「水」などについて吉村氏の貴重なお話を伺いながら定刻に終着し、皆

酒々井プレミアム・アウトレット

さんイチゴをお土産に各人帰路につきました。

▼お話の抜粋

※ハンバーグ 1 個に水：1,000ℓ 必要。

※人類（72 億人）が使える水は淡水 2.5%のうち 0.01%だそうです。

※「節水」よりも「水の循環」の意識が重要とのこと。

※水に流せない「水の話」がたくさんあるそうです。

幹事及び関係者の皆さんありがとうございました。



参加者のみなさん。酒々井プレミアム・アウトレットで